



会派視察報告

・2025年7月23日から25日にて長崎県大村市及び山口県徳山市にて視察を実施しました。

長崎県大村市

「人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略」について視察しました。大村市では、福祉・子育て・住環境整備政策に力点をおき、現在は高校を卒業した若者が大学を卒業後に市外に就職する事例が多いため、関係人口増加に向けた取り組みを強化し、市外に行っても、大村市と繋がっている環境整備を目指しております。この時代において、大村市は人口が増加しており、非常に参考になる視察でした。

山口県徳山市

「中心地活性化基本計画」について視察しました。徳山市では駅中心市街地の空洞化を解消するため、駅周辺整備事業や駅ビル跡地を活用した「賑わい交流施設整備事業」が実施されました。パブリックコメントや市民アンケートを参考に、さまざまな意見を反映しながら進められた事業で、駅を利用するビジネスパーソンもターゲットにし、年間約190万人、利用者の満足度も約81%と賑わいを取り戻し、今後は市内全域に波及させる計画で非常に参考になる視察でした。

改革フォーラムは視察を通して学んだ各事業を苦小牧市の発展に向けて参考にさせていただき、今後の活動を進めて参る所存です。



大成小学校が新しい校舎になります！

苦小牧市立大成小学校は、矢代町付近の人口増加に伴い、1960年に苦小牧西小学校から分離する形で開校し、創立から63年を迎えました。

現在は、新校舎建築に向けて、2023年度に基本設計、2024年度に実施設計が完了しています。

今後は、2026年度に工事を開始し、2027年度の3学期から新しい校舎の利用を開始します。

●改築の基本的な考え方

- (1) 多様な学習形態や児童の交流を推進するため、多目的室を整備するとともにICT機器を活用するため全教室にネットワーク環境を整えます。
- (2) 安全・安心に過ごせるよう、オートロック・防犯カメラを整備するとともに、校舎・屋内運動場の両方にエアコンを設置します。
- (3) 公共施設としての利用を考慮し、バリアフリー化及び避難施設としての機能強化を図ります。



■改革フォーラムの考え方！

これまでの議会議論で、改革フォーラムが要望してきた、各教室及び体育館にエアコンが設置されます。今後もエアコンが未設置の学校に対して、早期に設置されるよう働きかけて参ります。

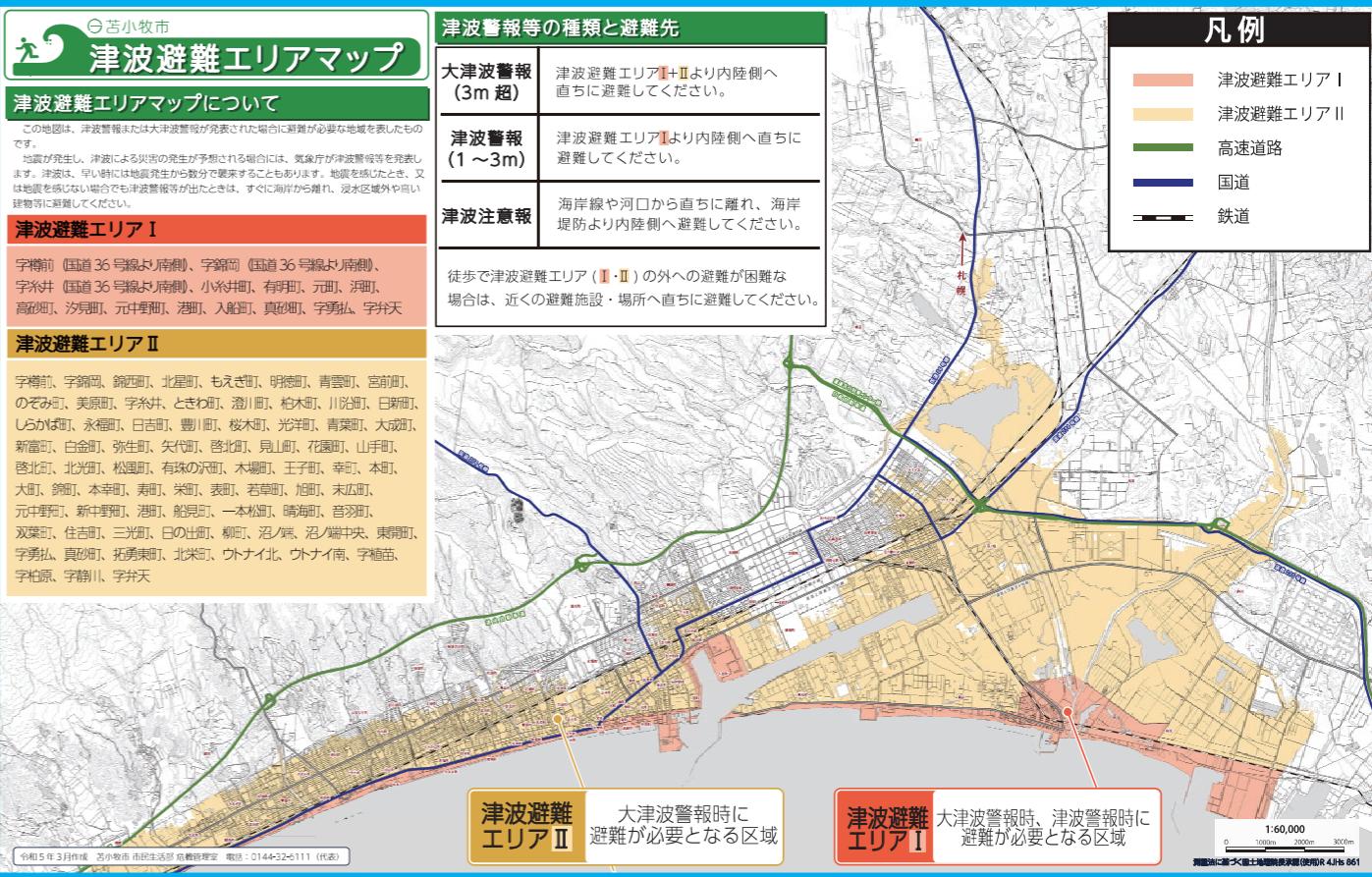


津波避難エリアマップについて

令和5年3月全戸配布【津波ハザードマップ裏面】



7月30日に発生したカムチャッカ半島地震による津波の発生を受けて気象庁から「津波警報」が発令されました。それを受け苦小牧市からは津波避難指示が広い地域に発令されました。お住まいの地域や勤務先が「津波警報・大津波警報」の対象地域に該当するのか今一度確認し、避難先や避難ルート、持ち出し品の備えにつなげて下さい。会派では津波対策として錦糸・ときわ地区での避難施設整備について早急な計画策定を求めています。



2025年10月より、マイナ救急がスタートしました

マイナ救急実証事業におきましては、総務省消防庁が主管としており、2025年10月1日より全国の消防本部で一斉にスタートしました。

マイナ救急とは？

救急隊員が傷病者の健康保険証として利用登録したマイナンバーカードを活用して、医療情報等を閲覧する仕組みです。

マイナ保険証の閲覧で分かること

マイナ保険証の閲覧により、傷病者の病歴、お薬の処方歴、病院の受診歴などがわかります。

マイナ救急の流れ

